

5年	単 元 名	体積
算数		

1. 単元の目標

直方体や立方体の体積について、その比べ方や表し方を理解し、求め方や公式を考えたり単位を適切に用いて表現したりすることを通して、体積の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

学校図書館資料を活用することで、日常生活の中で体積が使われている場面やいろいろなものの等々の体積を知り、体積の大きさをイメージしたり、体積の求め方を理解したりする。

3. 授業での活用場面（7/7）

学習活動	学校図書館の関わり
1 これまでの学習と今日の活動を振り返る 自分の調べたいことを確認する	・学校司書と連携し、速さについて掲載されている資料を予め選定し、準備しておく。
2 めあてを確認する	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 体積について調べたことをまとめて友達につたえよう </div>	
<ul style="list-style-type: none"> ・地球や東京ドームの体積がわかった ・人の体積はお風呂で測れる！ ・体積を表す単位がまだまだあった 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の取り出し方やの際に大切にしたいポイントについて、司書教諭が児童と確認する。
3 全体で共有する	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの気づきに価値付けをしたり、日常生活と結びつくようにアドバイスをしたりする。
4 ふりかえり	

4. 考察（成果や課題等）

算数の学習で、学校図書館の資料には、教科書にはかかれていない様々な内容がかかっているだけでなく、イラストや写真が掲載されているので、子どもたちにとってとても分かりやすく、学習内容の理解につながった。

また、図鑑等は「見て楽しむ」だけだった子どもが数値や書かれている内容を懸命に読んでいる姿があった。